



平成28年8月19日

各 位

会社名 株式会社テクノメディカ  
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知  
(コード: 6678、東証第1部)  
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志  
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成23年11月4日に開示いたしました「平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年11月4日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961  
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,240	△6.9	543	△13.1	545	△14.3	299	△31.9
23年3月期第2四半期	3,479	39.1	625	159.8	636	203.2	440	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10,268.92	—
23年3月期第2四半期	15,085.19	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,553	7,499	78.5
23年3月期	9,876	7,421	75.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,499百万円 23年3月期 7,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7,600.00	7,600.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期 (予想)	—	—	—	7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,225	8.8	1,644	13.3	1,647	13.2	978	4.8	33,504.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	29,200株	23年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	－株	23年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	29,200株	23年3月期2Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における我が国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きが見られるようになりましたが欧州の金融システムの不安定化など、不透明感が続く中で推移いたしました。

国内医療業界においては、政府の医療費抑制政策などにより医療機関の経営環境は厳しい状況にあり、医療機器に対する設備投資は、横ばいで推移するものと思われます。また、このところの為替相場における円高基調が海外メーカーとの競争において影響を及ぼす恐れがあります。

このような経営環境の中で、当社では本年度の売上計画を達成すべく営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,240,249千円(前年同期比6.9%減少)となりました。当第2四半期は国内市場において当初の見込みを下回る結果となった一方、当第2四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同累計期間比2.4ポイント増加し11.1%となりました。

利益面に関しては、売上総利益は1,626,180千円(前年同期比6.6%減少)、販売費及び一般管理費が1,082,416千円(前年同期比3.0%減少)となりましたが、営業利益は543,764千円(前年同期比13.1%減少)、経常利益は545,306千円(前年同期比14.3%減少)、四半期純利益は299,852千円(前年同期比31.9%減少)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期における採血管準備装置の売上高は1,180,444千円(前年同期比18.3%減少)となりました。

第2四半期は国内市場における売上高は980,563千円(前年同期比24.3%減少)となり、海外市場においては、売上高は199,881千円(前年同期比34.1%増加)となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期における検体検査装置の売上高は276,895千円(前年同期比6.1%減少)となりました。

競合海外メーカーとの競争が続く国内市場の売上高は217,497千円(前年同期比5.5%減少)となりました。

海外市場においては、引き続き積極的な販売を行ったものの、円高の影響から、売上高は59,398千円(前年同期比8.3%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期における消耗品等の売上高は1,675,536千円(前年同期比4.1%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計納入台数の増加に伴い1,576,130千円(前年同期比3.7%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、検体検査装置等の累計販売数の伸長から99,405千円(前年同期比12.1%増加)となりました。

##### ・その他

当第2四半期においては、前年同期にシステム関連の大型案件があった反動からその他の売上高は107,373千円(前年同期比18.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産の残高は9,553,497千円となり、前事業年度末比323,365千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだこと等により現金及び預金が227,880千円増加、売上債権が537,404千円減少したことによるものであります。

当第2四半期末の負債の残高は2,053,700千円となり、前事業年度末比401,297千円減少しました。これは主に、平成23年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が302,282千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が140,161千円減少したことによるものであります。

当第2四半期末の純資産の残高は7,499,797千円となり、前事業年度末比77,932千円増加しました。これは繰越利益剰余金が422,067千円減少、別途積立金が500,000千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は78.5%となり、前事業年度末比3.4ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は2,855,267千円となり、前事業年度末比237,050千円の増加となりました。

営業活動の結果449,869千円の資金増加となりました。これは主に、売上債権の回収が進んだことにより売上債権の減少額537,404千円があったものの、仕入債務の減少額302,282千円、法人税等の支払額373,115千円があったことによるものであります。

投資活動の結果8,945千円の資金増加となりました。これは主に、1年以上の定期預金を期間3ヶ月の定期預金へ変更したこと等によるものであります。

財務活動の結果221,764千円の資金減少となりました。これは、配当金の支払額221,764千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付の平成23年3月期決算短信で発表した平成24年3月期第2四半期の業績予想と実績の差異は、平成23年11月4日付の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」にて内容を開示しております。尚、通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,153,569	4,381,449
受取手形	602,434	609,090
売掛金	<u>1,864,536</u>	<u>1,320,475</u>
商品及び製品	<u>1,252,678</u>	<u>1,334,219</u>
仕掛品	236,432	165,614
原材料及び貯蔵品	77,238	81,141
前払費用	8,321	12,668
繰延税金資産	<u>75,220</u>	<u>67,177</u>
その他	989	637
貸倒引当金	—	<u>△6,028</u>
流動資産合計	<u>8,271,421</u>	<u>7,966,447</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	852,411
減価償却累計額	<u>△355,181</u>	<u>△370,164</u>
建物(純額)	<u>497,229</u>	<u>482,246</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,726</u>	<u>△2,814</u>
構築物(純額)	<u>1,351</u>	<u>1,262</u>
工具、器具及び備品	53,166	53,497
減価償却累計額	<u>△38,648</u>	<u>△42,319</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>14,518</u>	<u>11,177</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,300,426</u>	<u>1,282,013</u>
無形固定資産		
特許権	4,050	3,709
商標権	1,466	1,366
ソフトウェア	1,619	1,162
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>8,313</u>	<u>7,416</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	38,155
繰延税金資産	145,901	<u>143,113</u>
保険積立金	96,645	99,400
差入保証金	31,379	30,090
貸倒引当金	<u>△22,892</u>	<u>△20,649</u>
投資その他の資産合計	<u>296,700</u>	<u>297,619</u>
固定資産合計	<u>1,605,441</u>	<u>1,587,050</u>
資産合計	<u>9,876,862</u>	<u>9,553,497</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,169,507	867,225
短期借入金	100,000	100,000
未払金	283,136	149,791
未払法人税等	381,824	241,663
未払消費税等	15,093	22,997
未払費用	45,391	44,609
前受金	3,412	57,120
預り金	7,465	121,156
賞与引当金	94,000	99,000
その他	2,433	2,355
流動負債合計	<u>2,102,265</u>	<u>1,705,920</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	195,205	202,355
製品保証引当金	148,542	136,396
受入保証金	8,984	9,028
固定負債合計	<u>352,732</u>	<u>347,780</u>
負債合計	<u>2,454,998</u>	<u>2,053,700</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	5,384,138	5,462,071
株主資本合計	<u>7,421,864</u>	<u>7,499,797</u>
純資産合計	<u>7,421,864</u>	<u>7,499,797</u>
負債純資産合計	<u>9,876,862</u>	<u>9,553,497</u>



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,479,967	3,240,249
売上原価	1,738,148	1,614,068
売上総利益	1,741,819	1,626,180
販売費及び一般管理費	1,116,230	1,082,416
営業利益	625,589	543,764
営業外収益		
受取利息	2,670	1,073
消費税差額	8,545	—
償却債権取立益	—	6,463
その他	308	1,699
営業外収益合計	11,523	9,236
営業外費用		
支払利息	869	597
消費税差額	—	7,097
営業外費用合計	869	7,694
経常利益	636,243	545,306
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,120	—
固定資産除却損	57	—
特別損失合計	2,177	—
税引前四半期純利益	634,066	545,306
法人税、住民税及び事業税	206,936	234,621
法人税等調整額	△13,357	10,832
法人税等合計	193,578	245,453
四半期純利益	440,487	299,852

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	634,066	545,306
減価償却費	21,166	19,640
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,000	7,150
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	3,786
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,000	5,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4,864	△12,146
受取利息及び受取配当金	△2,670	△1,073
支払利息	869	597
固定資産除却損	57	—
売上債権の増減額 (△は増加)	687,720	537,404
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,151	△14,625
仕入債務の増減額 (△は減少)	△505,169	△302,282
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,725	△6,590
その他の負債の増減額 (△は減少)	△11,815	40,342
小計	852,786	822,509
利息及び配当金の受取額	2,670	1,073
利息の支払額	△869	△597
法人税等の支払額	△214,032	△373,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,554	449,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△61,853	△150,829
定期預金の払戻による収入	—	160,000
有形固定資産の取得による支出	△9,670	△1,354
差入保証金の差入による支出	△2,066	△674
差入保証金の回収による収入	598	1,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,991	8,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,800	—
配当金の支払額	△221,742	△221,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,542	△221,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	317,020	237,050
現金及び現金同等物の期首残高	2,282,783	2,618,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,599,804	2,855,267

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年11月4日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,404	0.3	645	19.3	647	19.2	401	13.5
23年3月期第2四半期	3,393	4.2	540	△6.6	542	△6.7	354	△0.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13,765.53	—
23年3月期第2四半期	12,127.49	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,341	8,399	81.2
23年3月期	10,616	8,218	77.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,399百万円 23年3月期 8,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7,600.00	7,600.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期（予想）			—	7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,225	8.8	1,644	13.3	1,647	13.2	978	4.8	33,504.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	29,200株	23年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	－株	23年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	29,200株	23年3月期2Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における我が国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きが見られるようになりましたが欧州の金融システムの不安定化など、不透明感が続く中で推移いたしました。

国内医療業界においては、政府の医療費抑制政策などにより医療機関の経営環境は厳しい状況にあり、医療機器に対する設備投資は、横ばいで推移するものと思われます。また、このところの為替相場における円高基調が海外メーカーとの競争において影響を及ぼす恐れがあります。

このような経営環境の中で、当社では本年度の売上計画を達成すべく営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,404,974千円(前年同期比0.3%増加)となりました。当第2四半期は国内市場において高機能新製品の価格浸透が順調に進み、売上高に寄与いたしました。一方、海外市場では、円高等の影響から当初の見込みを下回る結果となり、当第2四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同累計期間比0.2ポイント減少し11.2%となりました。

利益面に関しては、売上高総利益は1,728,997千円(前年同期比3.3%増加)、研究開発費が前年に比べ、下期に集中する予定となったことから販売費及び一般管理費が1,083,890千円(前年同期比4.4%減少)となり、営業利益は645,106千円(前年同期比19.3%増加)、経常利益は647,282千円(前年同期比19.2%増加)、四半期純利益は401,953千円(前年同期比13.5%増加)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期における採血管準備装置の売上高は1,373,519千円(前年同期比2.0%増加)となりました。

第2四半期は国内市場で、更新案件等が予定通りの成果をあげたこと等により、第1四半期の前期比2.7%減少を取り戻し、同市場における売上高は1,150,859千円(前年同期比3.0%増加)となりました。

海外市場においては、前年第2四半期会計期間に大型案件があったことの反動から、売上高は222,660千円(前年同期比2.9%減少)となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期における検体検査装置の売上高は276,895千円(前年同期比7.5%減少)となりました。

競合海外メーカーとの競争が続く国内市場の売上高は217,497千円(前年同期比5.5%減少)となりました。

海外市場においては、引き続き積極的な販売を行ったものの、円高の影響から、売上高は59,398千円(前年同期比13.9%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期における消耗品等の売上高は1,675,536千円(前年同期比4.1%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計納入台数の増加に伴い1,576,130千円(前年同期比3.7%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、検体検査装置等の累計販売数の伸長から99,405千円(前年同期比12.2%増加)となりました。

##### ・その他

当第2四半期においては、前年同期にシステム関連の大型案件があった反動からその他の売上高は79,023千円(前年同期比43.0%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産の残高は10,341,426千円となり、前事業年度末比274,971千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだこと等により現金及び預金が227,880千円増加、売上債権が494,153千円減少したことによるものであります。

当第2四半期末の負債の残高は1,942,398千円となり、前事業年度末比455,005千円減少しました。これは主に、平成23年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が302,282千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が140,161千円減少したことによるものであります。

当第2四半期末の純資産の残高は8,399,028千円となり、前事業年度末比180,033千円増加しました。これは繰越利益剰余金が319,966千円減少、別途積立金が500,000千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は81.2%となり、前事業年度末比3.8ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は2,855,267千円となり、前事業年度末比237,050千円の増加となりました。

営業活動の結果449,869千円の資金増加となりました。これは主に、売上債権の回収が進んだことにより売上債権の減少額425,753千円があったものの、仕入債務の減少額302,282千円、法人税等の支払額373,115千円があったことによるものであります。

投資活動の結果8,945千円の資金増加となりました。これは主に、1年以上の定期預金を期間3ヶ月の定期預金へ変更したこと等によるものであります。

財務活動の結果221,764千円の資金減少となりました。これは、配当金の支払額221,764千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付の平成23年3月期決算短信で発表した平成24年3月期第2四半期の業績予想と実績の差異は、平成23年11月4日付の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」にて内容を開示しております。尚、通期業績予想に変更はありません。



2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,153,569	4,381,449
受取手形	602,434	609,090
売掛金	<u>2,963,665</u>	<u>2,462,855</u>
商品及び製品	<u>933,715</u>	<u>953,347</u>
仕掛品	236,432	165,614
原材料及び貯蔵品	77,238	81,141
前払費用	8,321	12,668
繰延税金資産	<u>102,991</u>	<u>67,302</u>
その他	989	637
貸倒引当金	<u>△68,400</u>	<u>△7,502</u>
流動資産合計	<u>9,010,957</u>	<u>8,726,605</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	852,411
減価償却累計額	<u>△355,181</u>	<u>△370,164</u>
建物(純額)	<u>497,229</u>	<u>482,246</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,726</u>	<u>△2,814</u>
構築物(純額)	<u>1,351</u>	<u>1,262</u>
工具、器具及び備品	53,166	53,497
減価償却累計額	<u>△38,648</u>	<u>△42,319</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>14,518</u>	<u>11,177</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,300,426</u>	<u>1,282,013</u>
無形固定資産		
特許権	4,050	3,709
商標権	1,466	1,366
ソフトウェア	1,619	1,162
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>8,313</u>	<u>7,416</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	38,155
繰延税金資産	145,901	<u>170,883</u>
保険積立金	96,645	99,400
差入保証金	31,379	30,090
長期未収入金	—	<u>68,400</u>
貸倒引当金	<u>△22,892</u>	<u>△89,049</u>
投資その他の資産合計	<u>296,700</u>	<u>325,390</u>
固定資産合計	<u>1,605,441</u>	<u>1,614,820</u>
資産合計	<u>10,616,398</u>	<u>10,341,426</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,115,325	813,043
短期借入金	100,000	100,000
未払金	283,136	149,791
未払法人税等	381,824	241,663
未払消費税等	15,093	22,997
未払費用	45,391	44,609
預り金	7,465	121,156
賞与引当金	94,000	99,000
その他	2,433	2,355
流動負債合計	<u>2,044,671</u>	<u>1,594,618</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	195,205	202,355
製品保証引当金	148,542	136,396
受入保証金	8,984	9,028
固定負債合計	<u>352,732</u>	<u>347,780</u>
負債合計	<u>2,397,403</u>	<u>1,942,398</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	6,181,268	6,361,302
株主資本合計	<u>8,218,994</u>	<u>8,399,028</u>
純資産合計	<u>8,218,994</u>	<u>8,399,028</u>
負債純資産合計	<u>10,616,398</u>	<u>10,341,426</u>

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,393,625	3,404,974
売上原価	1,719,467	1,675,977
売上総利益	1,674,157	1,728,997
販売費及び一般管理費	1,133,330	1,083,890
営業利益	540,827	645,106
営業外収益		
受取利息	2,670	1,073
その他	308	1,699
営業外収益合計	2,978	2,772
営業外費用		
支払利息	869	597
営業外費用合計	869	597
経常利益	542,935	647,282
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,120	—
固定資産除却損	57	—
特別損失合計	2,177	—
税引前四半期純利益	540,758	647,282
法人税、住民税及び事業税	206,936	234,621
法人税等調整額	△20,299	10,707
法人税等合計	186,636	245,328
四半期純利益	354,122	401,953

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	540,758	647,282
減価償却費	21,166	19,640
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,000	7,150
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,100	5,260
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,000	5,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4,864	△12,146
受取利息及び受取配当金	△2,670	△1,073
支払利息	869	597
固定資産除却損	57	—
売上債権の増減額 (△は増加)	752,643	425,753
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,529	47,283
仕入債務の増減額 (△は減少)	△505,169	△302,282
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,725	△6,590
その他の負債の増減額 (△は減少)	18,149	△13,364
小計	852,786	822,509
利息及び配当金の受取額	2,670	1,073
利息の支払額	△869	△597
法人税等の支払額	△214,032	△373,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,554	449,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△61,853	△150,829
定期預金の払戻による収入	—	160,000
有形固定資産の取得による支出	△9,670	△1,354
差入保証金の差入による支出	△2,066	△674
差入保証金の回収による収入	598	1,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,991	8,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,800	—
配当金の支払額	△221,742	△221,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,542	△221,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	317,020	237,050
現金及び現金同等物の期首残高	2,282,783	2,618,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,599,804	2,855,267

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。